

## 浅海地区タウンミーティング（要約）

テーマ：浅海地区のまちづくりについて

令和3年11月19日（金曜日）

【市長】 皆さん、こんばんは。今日は金曜日の夜で何かと忙しかったのではないかと思いますけれども、このようにお集まりいただきまして誠にありがとうございます。本日の開催に際しましては、浅海地区まちづくり協議会の会長さんをはじめ、役員の皆さんには大変お世話になりました。ありがとうございます。当初、浅海地区タウンミーティングは、今年の1月に予定していたものがコロナの関係で延期になって、4月にやりたいなと思っていたものもコロナの関係で延期になり、市民の皆さんや事業者の皆さんが感染回避行動にご協力をいただいたおかげで、今日開催できるようになりました。皆さんのご協力に感謝申し上げます。さて松山市のタウンミーティングですが、私が市長に就任させていただいてからスタートしています。松山市は旧松山市、旧北条市、旧中島町合わせると全部で41地区に分かれます。その41地区を1期目では、2巡りさせていただきました。そして2期目に入って、地域別のタウンミーティングに加えて、人生の先輩方世代や子育て世代の方々に集まっていただく世代別のタウンミーティングとか、農業関係の方々や商店街の方々に集まっていただく職業別のタウンミーティングをしています。現在3期目に入らせていただいておりますが、これまで参加された皆さんから、市の取り組みを知ることができて勉強になったとお声を多くいただきましたので、意見交換の合間に広報タイムをとらせていただいて、現地現場で業務に携わっている市の職員から、市民生活に役立つ情報をご紹介します。今日のタウンミーティングで通算125回目です。皆さんからいただいたご意見にはできるだけこの場でお答えして帰りますが、中には国や県と調整をしなければいけない案件や財政的によく考えなければならない案件に対して、いい加減な返事をして帰るわけにはいきませんので、そういったものはいったん持ち帰って1カ月をめどに必ず返事をする、聞きっ放しにしない、やりっぱなしにしないというのが、松山市のタウンミーティングの特徴です。今日はこれからの浅海地区のまちづくりについて、有意義な意見交換をさせていただいたらと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

【男性】 南海トラフ地震の脅威が迫っている昨今、松山市最北端の浅海地区に救援・救助の手が回ってくるのは一体いつになるかと考えると、自助・共助による消火器や救助機材等の運用が必要不可欠になってきます。そこで、消防団の積載車には、救助用油圧式ジャッキを配備するとともに、一般家庭には、消火器購入の意欲が沸くよう、行政から助成を打ち出してもらおうと防災の機運も一層高まってきます。ご検討をよろしくお願いたします。

【防災・危機管理課長】 現在、各地区に自主防災組織を結成いただいております。その

自主防災組織の活動支援として、いくつかの補助制度を設けています。その中で昨年度、消火器や油圧ジャッキを購入した地区もあります。また、浅海地区自主防災組織連合会でも補助金を活用して、避難所の対策用の資機材や非常用のトイレ、コロナの対策用として非接触型体温計、避難所で使用する間仕切り等を整備されました。補助内容や申請方法は、毎年4月当初に、自主防災組織連合会の会長と代表防災士の方にお知らせしています。その補助金をどのように活用するかは地元の皆さんでいろいろ考えていただきながら、資機材の購入等に充てていただいています。また、先ほどご質問がありました消防団の車両にも、油圧ジャッキや救助用資機材を積載しています。消防団の方々も、資機材がうまく使えなくてはいけないので訓練にも参加いただいて、実際に使えるような体制を整えています。ご相談等があれば、防災・危機管理課にお願いします。

【市長】 私も防災士の資格を取らせていただいています。その中で勉強したんですけれども、皆さん、大きい地震でいうと、阪神淡路大震災をまず思い浮かべますよね。あの時、神戸の辺りがすごく燃えていたのを映像として思い出すのではないかなと思います。松山市は消防署があって、消防団員の方も活動してくださっていて、国では消防庁というところがありますが、ここがしっかりと災害のことを研究しながら、どういうことが必要なかを国全体としてやっています。しっかりと連携しながらやっているんですけれども、心配なのは家具が倒れてきて逃げ場を失うとか、骨折をすることかです。今、昔に比べると火災の件数は減っています。やはり住宅は燃えにくい素材になっています。もちろん全く起こらないというわけではないんですけれども、火災よりも、家具が転倒して当たりどころが悪かったら人が亡くなります。足や手に当たると骨が折れて、避難しにくくなりますよね。もし体に当たらなかつたとしても、逃げ道がふさがれてしまいます。南海トラフを震源とした地震の発生の確率は、以前は30年以内に70%程度といわれていたんですけれども、今70%から80%に上がりました。皆さん、雨の降る確率が70%とか80%といわれたら、おそらく傘とかカッパとか用意されますよね。我々もしっかりと準備をしていきますけれども、皆さんも準備をよろしくお願いします。

【男性】 私は転勤族でしたので、約40年間、他の地域にいましたけれども、定年退職と同時にふるさと浅海へ帰って3年目を迎えます。そして改めてこの地域のすばらしさを再認識しているところです。海は穏やかで、南予のリアス式とは異なり花こう岩の白い美しい砂浜が遠浅を形成して海岸が続いています。津波などの災害が少ない温暖な地域です。地域内は海岸からの距離、それから標高面で適地となる農産物の種類も多く、特に高級中晩柑橘類の栽培にも適していて、新鮮な魚介類も豊富で、JRの駅があり、神社、仏閣、古墳群もあり、歴史的にも興味深い地域だと思います。しかし、浅海地区は松山市の北端に位置していて、市街地から25キロ程度の距離があります。道路の現状からみても、陸の孤島といえる地域かもしれません。私が幼いころには祭りのだんじりも台車なしで人力で担ぎ上げるほど、若い力が多く溢れていましたけれども、今は人

口の減少と高齢化が進み、人口は千人を下ろうとしている状況です。この人口減少と高齢化の中で思う一つが、医療体制です。重体患者が発生した場合に、緊急車両での搬送には限界があります。有機農地等の活用など、場所によっては地権者との協議も必要でしょうけれども、ドクターヘリの離発着できる場所の確保ができるよう、国や県などの関係機関、団体等と連携していただき、いわゆるヘリポートの整備をご検討いただけないでしょうか。数年前にはヘリコプターが上空まで到着したにもかかわらず、砂ぼこりの発生等の問題で適切な場所がなくて、緊急搬送できなかった事例もあったように聞いています。課題として他に介護や福祉の面であるとか、食料の確保、買い物弱者とか、働く場の確保や移住促進など解決すべき課題も山積していると思いますけれども、このヘリポートの設置につきましてご検討いただければ幸いです。

【防災・危機管理課長】 ドクターヘリのほかにも防災ヘリがありますが、浅海小学校を緊急の発着場として指定しています。ドクターヘリについては、ヘリのランデブーポイントという形で、もしも浅海の小学校のグラウンドが使えなかった場合は、北条スポーツセンターに発着できるよう登録しています。また、最近では、ゴルフ場のご協力をいただいて、緊急時はグリーン上にも発着させていただけるように場所を整備させていただいています。ドクターヘリが着陸できなかったということは、私どもは聞いたことはないんですけれども、実際に着陸して患者さんの容態を確認した後、救急車で搬送した方がいいと医師が判断したことはあったと聞いています。そういう状況で、ドクターヘリの発着は可能です。

【市長】 浅海地区でのドクターヘリの出勤実績ですが、浅海小学校に降り立ったのが平成 29 年 12 月、北条スポーツセンターには平成 29 年 4 月と平成 31 年 2 月になっています。症状によってになりますけれども、ドクターヘリが来ますので安心いただけたらと思います。

【男性】 浅海には立派な新畑海岸があります。昔の浅海村の村営住宅が 1 件まだ残っていますけれども、それ以外は全部空いていて、そこに小学生やキャンプに来られる方、風和里であふれた方が新畑海岸に来てくれます。風和里では、バレーボールとかいろいろな競技があつて中に入りにくかったり、モータースクーターでガンガンやられたりするものですから、浅海の穏やかなとこに来ていただいています。年間で 300 人は来てくれているのではないかと思います。改めてお願いがあるんですけれども、小学生の海水浴場として利用している新畑海岸に、風和里同様にシャワー室やトイレを一つずつでもかまいませんので設置いただくようお願いします。

【都市・交通計画課長】 新畑海岸へトイレやシャワーを設置することについては、台風や高潮などによる防災対応の観点などから、防波堤の前の砂浜部分に施設をつくることは非常に難しいほか、砂浜以外の場所にこれを整備するには海岸の利用頻度やトイレ清掃など、施設管理のルールやマナーを徹底していく必要があります。まずは、地元の

皆さんで、適した場所や規模などをご検討いただいてから、松山市が地域の皆さんにどういう形でご協力できるか、協議させていただければと思います。

【市長】 全くできませんというわけではなくて、今申し上げたように、台風の時なんかもそうですけれども、どうしても防波堤とか防潮堤にトイレやシャワーを設けてそれが流れてというようなことを考えたりすると、防災の観点からちょっと難しい話ではあるんだそうです。でも、砂浜以外の場所にトイレやシャワーを整備するのは、せっかくまちづくり協議会さんがありますので、皆さんで適した場所や規模などをご検討いただいて、私たちがサポートしていければと思っています。

【男性】 健康維持のために3年ほど自転車を漕いで、菊間町まで行っています。片道4キロで往復が8キロですけれども、国立公園の瀬戸内海に面した道路を漕いでいくと、本当に気持ちも清涼で、漕いだという満足感があります。逆に、北条浅海間の道路を通ってみますと全部、刑務所のように潮止めの塀をつくってしまっています。だから、北条浅海間は自転車でも歩いても車でも、もう何も見えません。何年前か前に、満潮のとき、風向きによっては、潮が道路に吹き上がって、それで車を濡らすのを防止するために補強したのは分かりますが、瀬戸内海の雄大な観光を生で感じるためには、あれをのけたらいいんじゃないかと。そのためには、透明なものをつけたらドライバーの方も非常に喜んでいただけるのかなと感じています。

【都市・交通計画課長】 国道196号は先ほどおっしゃったように、風も強く、波もかぶってくるのを防止するためにしている壁かもしれません。頂いたご意見は、国土交通省松山河川国道事務所にお伝えさせていただく形でよろしいでしょうか。

【市長】 私の記憶を思い出しながら話をさせていただきます。私が就任させていただいたのは平成22年で、その後に国道196号は国管理の道路ですから、国土交通省の方で防波堤やガードレールを設置したと。私も高校の時、河野から松山の学校へ自転車で粟井坂から海を見ながら、北条の海はきれいだなあと思っていました。あれができて、やはり残念に思われる地元の方々もいらっしゃいましたので、私や知事の方にも、これちょっとのけてもらえんやろうかという声は頂きました。私と知事から国土交通省松山河川国道事務所にはご意見を伝え、一定のけられるところはのけたのではなかったかと記憶しています。浅海地区タウンミーティングで地元の方からご意見頂きましたことを、また国土交通省松山河川国道事務所にお伝えさせていただいたらと思います。一番いいのは国土交通省の財政具合もありますが、すごい硬いプラスチックができて、眺望も保たれて、防災面も機能するものができればいいんでしょうけれども、その辺りは、国土交通省が総合的に判断されていくのかなと思います。

【男性】 浅海小学校は人数が30名前後だと思うんです。来年は5人ぐらいでその次がものすごく減ると聞いていますが、合併問題を親たちは心配していますので、ご返事

をお願いします。

【生涯学習政策課長】 今、浅海小学校の生徒は33人と伺っています。先日確認したところ6年生が3人なので3人卒業して、来年2人入る予定と聞いています。来年度も同じような規模での運営になると思います。小学校の合併についてですが、現時点でそのような計画はありません。

【市長】 私もコロナの関係で、最近、来ていないですけど、浅海地区の運動会でさせていただいたのをよく記憶しています。校章が梨の花ですね。私の前の仕事でアウンサーだったときに、県内各地、また中四国各地いろいろ行かせてもらっています。そんな中で、前に取材に来たときは学校があったけれども、何年か経ったら、学校がなくなるところを見てきました。学校は地域のよりどころだなと思うのは、学校がなくなってしまうところって、ものすごく寂しいなあと感じるんです。松山市ではできるだけ小学校・中学校は残していきたいと思っています。やっぱり地元の方が、自分たちの地域に愛着や誇りを持っていただくことがすごく大事だと思うんです。もちろん、この地区も100点満点で課題が全くありませんってところはなと思うんですけど、やっぱり地元の方々が地元を好きであってもらうことが大事だと思います。一般論ですが、うちの町には何もないじゃなくて、浅海はこういうところがいいと皆さんが思うことが第一歩じゃないのかなと思います。そうじゃないとやっぱりお子さんたちも残ってくれないかなと思いますし、各地区で事情はあるけれど、そこに住んでいる人たちが自分の町を好きじゃないといかんとします。私たちも各41地区を大事にしていきたいと思っていますので、皆さんもよろしくをお願いします。

#### 広報タイム「救急車到着までの応急手当」

【男性】 子どもも減ってきて、若い世代、子育て世代が減ってきています。私も高校を卒業して、県外へ出て、子どもの小学校の入学と同時にこっちに帰ってきたんですけども、やっぱりUターンとかIターンの促進が重要だと思っています。松山市としてどういう取り組みをしているか、逆に地域でこういうことしたらいいですよみたいのがあったら教えていただきたいと思っています。

【まちづくり推進課長】 移住と定住に分けて取り組んでいます。移住は、松山へ移り住んで来ていただく取り組みを進めています。定住は、松山で生まれ育って、いったんはどこかへ出たけれどもいずれ帰ってくる、もしくは松山で生まれ育ってそのまま松山へ住み続けていただく取り組みを進めています。移住に関しては、松山の魅力を全国に向けて発信し松山に移り住んでいただく、定住促進は若い世代に松山の魅力を地域資源含めて認識していただいて、ふるさとに愛着を持てる取り組みを進めて、いずれそれを思い返して帰ってきていただくという取り組みをしています。昨年度、移住者として把握している人数は726人で、これまでで一番多い移住者数を把握しています。ただし、

19歳から24歳までの移住者数については、転出の方が超過している状態で、入ってくる人数より出ていく人数の方が多いう状態が続いていますので、今後ますます若者に残っていただく、帰ってきていただく取り組みを積極的に進めたいと考えています。

【市長】 今、皆さん方のご協力もあって、移住はいい具合に進んでいます。たまたまですけれど、明日のテレビ放送で忽那諸島・三津浜・北条のまちづくりについて分かりやすくまとめた番組が流れるんです。それを見ていただいたら、松山がどのようにして、移住定住を促進しているのか、移住してきた方がどんなことを言っているのかを感じていただけたらと思います。東京で移住のイベントをしたり、移住希望の方と面談をしたりする際に、東京に住んでいる方から、松山ではどんな風景が見られるんですかと聞かれたら、例えば梅津寺の海岸の写真を見せるんです。そうすると、この海って町中からどれくらい離れているのか聞かれ、車で15～20分ぐらいと言ったら、そんなに近いんですかと言われる。東京とか大阪の方に移住を促進しようとお話をしたら、子育て世代の方々は、お子さんがどういう学校に行けるんだらうっていうのは、関心が高いみたいです。松山にはこういう中学校、高校がありますよって言ったら、いろんな学校がそろっているんですねって言われます。もちろん働く場所がないといけないので、企業誘致もどんどん愛媛県と連携して進めているところですが、明日の番組で出てくる忽那諸島や三津浜、北条に移住した方も、やっぱり人がやさしいって口々におっしゃっています。人がやさしい、気候が穏やかで、風景がいい。やっぱり我々は日頃住んでいたらなかなか気づかないんですけれども、すごくいいところに住んでいるんだなと思います。浅海は古墳がいっぱいありますよね。古墳がいっぱいあるっていうことは、はるか昔から人が住んでいるということで、人が住むには適地だということです。そういうところに皆さんは住んでいらっしゃるのではないかなと感じている次第です。

【男性】 松山市には難波浅海線を改良し続けていただいて、大分できて、ありがとうございます。今、浅海原農地整備事業を手がけていて、主に国の事業ですから県がやってくれているんですけれど、市の職員の方もいろいろ協力いただいてスムーズに進んでいます。そろそろ工事が始まるんじゃないかと思っています。やはり浅海的主要産業は柑橘産業ですので、それを継続して発展させていきたいと思っていますが、高齢化により農地も半分以上、耕作放棄地になっているのを我々は心配していて、農地整備事業をやろうじゃないかということになって、やり始めたわけです。一応できそうなんですけれど、もう一つ、新たに同じような農地整備事業を今、計画しています。新規就農者にぜひ、他地区から来てもらって、どんどん素晴らしい園地を耕作してつくっていただき、浅海の発展にも人口増にも寄与してもらいたいと思ってやっています。県にも話に行って、それはぜひやりましょうというような、まだ話だけの段階ですけど、話を具体的に進めていきたいと思しますので、市の方もご協力をお願いしたいと思っています。

【産業経済部副部長】 農地整備ですけど、昨年度から測量設計に入っていて、県か

らは今年度中には発注すると聞いています。令和6年までの予定ということで、今のところは予定通りと聞いていますので、松山市も工事が終わった後の土地の整理を担当させていただきますので、協力して一生懸命早期完成を目指して、頑張っていきたいと思っています。放棄地の問題もいろいろあると思いますし、農業関係の支援のお話もあるかと思っていますので、何かご心配なことがあったら農水振興課にご連絡をお願いします。

【市長】 どうぞ皆さん、市役所を使ってください。よく職員には、市民の皆さんの役に立つところで市役所じゃなきゃいけないと言っています。皆さんの敷居を高くせずに、こんなことで困っとなやけど何かいいことなかろうかって相談してください。もしできなかったとしても、こういうやり方をしているところがありますよと情報提供することができるかもしれません。どうせ市役所に言うたって変わらへんわいではなくて、相談をしていただいたらと思います。また先ほど触れられました市道浅海難波線ですが、浅海と難波を結ぶ道は平成23年度から事業に着手し、25年度から工事に入っています。私が就任させていただいて4カ月後に東日本大震災がありました。北条・今治・菊間を結ぶ道として、国道196号線がありますけれども、国道196号が何かあってはいけないので、サブの道を考えておかなければならないだろうと思っています。そういう中で、浅海難波線は、車両の安心安全な通行を確保するため、約1キロの区間の道幅を5メートルに広げて、急カーブで見通しの悪い箇所を解消していっています。今のところ660メートルの区間がすでに完成しました。今年度末にはさらに約80メートルの区間が完成する予定で、全体の完成は令和5年度となっています。もう少しで、工事が終了しますので、引き続きご協力をよろしくをお願いします。

【男性】 浅海地区はまだまだ農家が多いです。えひめ中央管内でも松山市の補助事業は素晴らしいことをしてくれていると思います。この補助事業を、まだまだ続けてほしいと思います。また、市単独の池の改修工事で、法律が変わって10年以内にしなさいということになっていますが、池の工事は金額も高いそうで、負担金もまた地元農家にかかってくると思います。今の農家に特別な負担金をしろというのはなかなか難しいので、その点をよろしくをお願いします。

【市長】 農業への支援をできるだけさせていただきます。私の祖母は95歳で亡くなり、最後の最後まで畑に出続けた人生でした。中央農協さんの広報紙にも取り上げていただいたりしました。浅海の方は農業に携わっている方が多いと思いますけれども、農業はオフィスみたいに机や椅子があって、冷暖房がきいている世界ではないじゃないですか。暑い、寒いがある。そういう中で一生懸命皆さんは作業していらっしゃる。もちろん、どの仕事も尊いんですけれども、やっぱり食というのは農業と密接で、口から入って体を構成するものですから、農つていうのはすごく大事にしたいと思っています。今の時期でいうと紅まどんとか1月のせとかとか、5月のカラマンダリン、これらをまつやま農林水産物ブランドの柑橘の3品種に認定していますが、これは農家の方の所得を

向上させる安定させる取り組みです。こういった支援はできるだけやっていきたいと思っています。また、要件などありますが、水田農家さんが野菜や麦、飼料用のお米などへの転作や二毛作に取り組んだ場合、栽培面積に応じて交付金を出したり、イノシシ、猿、シカ、有害鳥獣対策として、防護柵の設置や捕獲などさまざまな支援をしたりしていますので、何かお困りの点がありましたら、遠慮なく農水振興課へご相談いただけたらと思います。

**【産業経済部副部長】** 10年以内に何とかしなければいけないのは、防災重点ため池のことだと思います。浅海は、本当にため池が多いですね。10年以内に松山市全体でやっていかなければいけないと思っています。先ほど負担金の話が出ましたけれど、防災重点ため池については、9月の市議会でも負担の軽減の案件が出て、今、負担の軽減について検討しています。やっぱり1%といっても、何千万、何億円の工事だと、何十万、何百万円になってしまいます。防災重点ため池は、負担金をゼロにするということを検討していますので、何とか頑張っけてやっていきたいと思っています。

#### 広報タイム「家具転倒防止対策の必要性」

**【女性】** 浅海の空き家問題は、今までのタウンミーティングで質問もあったと思うんですが、大分危険な空き家は取り壊されて、そのあとの空き地が最初はきれいですが、そのうち草が生えて、鳥が持ってきた木が生えだします。それで、私の地域では、三方が道路になっているところで300坪ぐらいの大きな屋敷で塀とか壊れそうで危なかったんですが、全部更地になりました。それはよかったですけれど、今年の夏は区長さんが除草剤を撒いてくださったりして、もう冬になりましたから草はそんなには生えていないんですけど、塀がなくなった分、草側の道路に溢れてきます。そこがちょうど盆踊りなどをやる地区の中心地になるんです。その家は何十年も県外におられる方で、ほったらかしになっていたのでも、今後も管理をされるとは思わないので、地区の人が管理をしていくんですけども、そうなった場合にその土地を地区が活用できるように、行政の方で持ち主の方に話してもらったら、草を抜いたり除草剤をまいたりしても、そこを駐車場に使えるとか、何か行事ごとで使えるとかみたいなことにしていただけたら、お互いに納得がいくのではないのかなと思ったりします。

**【市民部副部長】** 空き地に雑草がたくさん生い茂って近所の方がお困りの場合は、ご相談いただいたらその都度、空き地の所有者の方に除草をしていただくように、松山市からお願いをしています。今お話にありましたけれど、抜いてもまた生えてきますので、毎年のことになると思うんですが、過去にそういう雑草についてのご相談があった空き地の所有者に対して、春のどンドン生えてくる時期の前に、土地を有効利用してみませんかとか、管理の仕方についての啓発文書をお送りしたりして、次に生えてくる雑草を防ぐためのこともしています。一度、環境指導課にご相談をされるのがよいかと思いま



すけれども、今日は地図を持って来ていますので、後ほど教えてください。

【市長】 環境でちょっと困ったっていう事案ですので、環境指導課と申し上げましたけれど、まさにそういう課があるんです。例えば、工場の騒音が気になるときに、やはり皆さんからは言いにくかったりするじゃないですか。そういう時に、環境指導課に言っていたら、地区の方からそういうお声がありますよ、気をつけてくださいねとか言うことはできますので、どうぞ環境指導課をご利用いただいたらと思います。

【男性】 昨今ニュースでよく聞く高齢者ドライバーの事故があつて、免許の返上が年齢とともに近づいてくると思うんですけれども、浅海は病院にしても、お店にしても、何も無いところなので、車がなかったらどうしても生活に不便を生じる地区になります。私も年だし、近所にもお年の方がいっぱいいるんですけれども、事故を起こす前に免許の返上をしたいと思うんですけれども、生活をしていく上ではどうしても車がないと困るので、もし免許返上した場合、公共の交通機関をタダとは言わないんですけれども、いくらか市から補助が出て、使えるようなパスとかそんな計画や考えがあったら聞きたいです。

【市長】 地元住民の方の交通手段はすごく大事です。興居島の事例をご紹介させていただこうと思います。興居島の唯一の交通手段だった民間のタクシー事業者さんが運休状態になりました。島の中での移動サービスがなくなったので、町内会や社会福祉協議会などの関係者が協議を重ねて、ボランティア運転手が1回乗車500円程度、ワンコイン500円で運送する過疎地有償運送事業としてごごしまふれあいタクシーを6年前の平成27年度から始めました。松山市は、ボランティア運転手さんの研修の費用や運転者証の作成費、啓発用など初動期の経費を初年度に約50万円補助しています。ほかにも立岩の例ですと、予約制乗り合いタクシーがスタートしました。立岩では、令和3年4月1日からバスの路線が廃止になったんです。代替りの交通として、地元の代表者やまちづくり協議会、北条のタクシー会社さんが協議を重ねて、予約制乗り合いタクシーの実証運行を始めています。お金は年会費が500円で、1回乗車500円で、1日14便運行しています。松山市では新たな交通手段として、自家用有償運送、乗り合いタクシーなどの仕組みづくりの検討をサポートすることもできますので、まずは地域の皆さんで話し合っていていただいて、都市・交通計画課にご相談をいただいたらと思います。事例があるということは、ある程度やりやすい状況ですし、せつかくまちづくり協議会もありますので、遠慮なく相談をしていただいたらと思います。また、買い物は浅海、正岡、立岩、河野、粟井で、ハトマートさんと話し合って、買い物バスを走らせています。こういう形もありますので、皆さんと話し合っていていい形になればと思っています。

【男性】 私の住む地域は果樹農家がほとんどで、浅海全体がそうだと思うんですが、近年の異常気象で、災害で農道の崩壊や用水路、個人の園地が次々に被害を受け、今、

ほとんどを修繕していただいて、個人園地は最終段階に入っているんじゃないかと思えます。そんな中で、市の担当者もちょうど浅海出身の人もいるようで、足しげに通っていただいて本当に頭の下がる思いです。ちょっとした災害などは、地元で直していたんですけれども、だんだん年をとってそういった対応が効きにくくなるので、どうしても市の方をお願いするようなことが多々あります。そのときに、予算の都合がないんでというようなことがないように、あつかましいお願いですけれども、できるだけ早く対応していただいて、でないとなんかそれを機に廃園とか離農してしまうとかならないように、火を消さないためにもできるだけお助け願えたらと思っています。

【産業経済部副部長】 西日本豪雨と去年の7月の豪雨災害があり、浅海地区はあと15カ所ほど残っているのが現状です。今年度9カ所やって、来年度6カ所やって、2回の大災害の復旧は何とかできると思っています。先ほどご要望がありましたように、災害は我々も何とか国の補助金や市の財政もいろいろ考えながらできるだけのことをやるつもりでいますので、何かあれば農林土木課にご連絡いただきたいと思います。

【市長】 平成30年西日本豪雨、令和2年7月豪雨と、同じ7月に豪雨がありました。一度直したところがまた壊れたこともあったんですけれども、とにかく松山市は、できるだけ早くこの豪雨災害を復旧させるんだということで臨んでいます。昔に比べると建設業者さんがすごく減っていて、どうしても時間かかっているんですけれども、できるだけ早く復旧させたいと思っています。

【市長】 ちょうど8時半になりました。皆さんいい具合に手が挙がって8時半を迎えることができました。いろいろとご配慮いただきながら、手を挙げていただいたんではないかと、皆さんのお気づかいに感謝を申し上げたいと思います。先ほど申し上げましたけれども、私が就任させていただいて4カ月後に東日本大震災がありました。また、3年前には西日本豪雨がありました。今、世界が見舞われたコロナのこともあります。職員には、これは我々世代の宿命だと思って、何とか乗り越えていこう、我々は疾病や災害を必ず乗り越えられると思っています。皆さんの声をしっかりと聞きながら、松山市としてやるべきことをしっかりとやっていきたいと思っています。重ねてになりますけれども、どうぞ敷居を高くしないで、市役所に言ったって何も変わらないではなくて、遠慮なくいろいろなことを相談いただいたらと思います。声を寄せていただいたらと思います。今日は金曜日の夜でしたのに、お集まりいただきまして、本当にありがとうございました。

—了—